

快 適 生 活 応 援 情 報

SKホームの佐々木学です。GWに高速を利用して遠出したのですが、飛び石でフロントガラスが割れてしまいトホホな結果でした…。

2006年6月15日号

梅雨の季節のカビ・湿気対策

一年で一番ジメジメして不快なのが梅雨の季節です。外は降り続く雨で、水周りはカビの不快な匂いでいっぱい。しかし、どんな対策をとればいいのか解からないのが現状です。そこで今回は、梅雨時期の湿気と冬場の乾燥を同時に解消する方法や、不快なカビの匂いに対する対策についてまとめました。是非「参考下さい」。

新素材と旧素材

現在、住宅に使われる壁材といえば一般的には石膏ボードと壁紙です。しかし、コスト面では優れていても、調湿性などはあまり期待できませんでした。

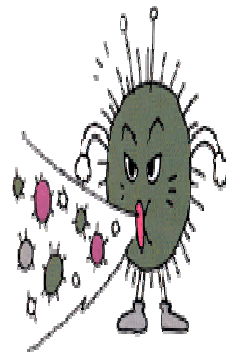
そこでお勧めしたいのが、壁に貼る調湿パネルと壁に塗る珪藻土(けいそうど)です。

見た目と施工性は全く違うものですが、その性能は大変似通っています。

梅雨の時期は湿気を吸って結露やカビを防ぎ、冬の乾燥時期は、素材に含んだ水分を放出して乾燥を防ぎます。

また、ホルムアルデヒドなどの有害物質も吸着して低減しますので、シックハウス症候群や鼻炎、アトピーなどにも効果がありません。また、ペットのニオイも軽減することが出来ます。

床下調湿と住宅換気

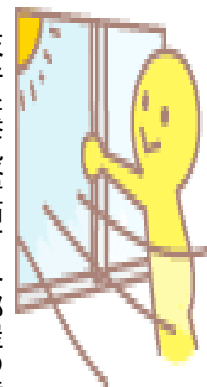


家を新築する場合、24時間換気システムの設置が必要です。それは、ホルムアルデヒドなどの化学物質を屋外に排出するためです。

しかし、既存住宅に設置義務はありませんが、最も化学物質を排出すると言われているのは、設置義務化以前の建材が主です。



そこで、既存の住宅にも24時間換気等の換気システムの設置をお勧めします。



天井(裏)設置型と各部屋の壁に設置する型とありますが、どちらの性能も大差ありません。

設置により化学物質の排出はもちろんのこと、部屋の空気溜まりが無くなり不快な匂いも排出できます。

また、湿気の多い家で床下換気をする、カビの発生を抑制して、家全体の寿命を延ばす事にもつながります。

簡単カビの撃退法

梅雨の時期に発生しやすいのがカビですが、下駄箱やクローゼットの扉を開けて換気したり、家具を壁から離したりする事でも防げます。また、押入には除湿剤やスノコを置き、風呂の使用後は壁にお湯をかけて石鹼カスを流すだけでも充分防カビ効果があります。

カビは人と家の健康を脅かす物ですが、しっかりと対策をとれば快適に梅雨時期も過ごせます。



ご提案させていただく
佐々木学です。

*どんな小さなことでも
お気軽にお電話下さい。

お問い合わせ先 090-7930-3893



有限会社 SKホーム

〒014-0206 秋田県大仙市長戸呂字柳原 72-11
TEL 0187-52-6226
URL <http://www.kaiteki-seikatsu.co.jp/>